

鍼灸院に通って1年

昨年2月25日、京ちゃんのお父さんが院長の「ウェルネスはやし鍼灸院」に初めて行った。今日で1年になる。こうして1年前のことをよく覚えているのは、愛用の手帳に細かく記してあるからだ。

あの日、地下鉄「堀田駅」から鍼灸院に向かったが、道に迷ってしまった。郵便配達の人などに聞いて、なんとか予約時間までにたどりついた。鍼灸院の前で、学校帰りのちーちゃんと偶然出会い、ほっとしたことが忘れられない。昨年2月27日にレポートしたが、「鍼灸1年」を記念して？「進級」した気分を書いてみたい。



鍼灸院には目の入院などを除いて、だいたい週2日、定期的に通っている。おかげで「年季の入った腰痛」も、鍼灸が「ようつう」じてきて、最近は階段の上りも気にならなくなった。とにかく明るい感じの鍼灸院であり、鍼灸によりリラックスできる。院長先生とスタッフの腕前によるが、ベッドの上での会話も、体と心をなごませてくれる。私のレポートや京ちゃんらの学校のこと、地域の諸問題など、話題は尽きない。温かい鍼灸と明るい雰囲気、多くの患者さん、リピーターを増やしているのであろう。

鍼灸院は瑞穂区下坂町にあるが、「郡道」や「田光神社のクスノキ」などについては、何本かレポートしてきた。そのほかにも興味深いことがある。この界限は「下町情緒」が残る地域であり、古いお店も多い。昔ながらの酒屋さんが目につく。星ヶ丘あたりと違い、羨ましいかぎりだ。鍼灸院から数軒先の酒屋さんに焼酎を買いに入った。おばあさんが「店番」をしていた。ふと棚を見ると、屋久島の「三岳」が並んでいた。人気の焼酎であり、なかなか手に入りにくい。嬉しさのあまり1本買った。



おばあさんは今年で90歳という。いつから、この店を出したかと聞くと昭和36年という。「伊勢湾台風の2年後だね」などと、話が弾んだ。被害を受けた港区から、こちらに移ってきたそうだ。「三岳」を見つけられ、昔の話を聞けるお店が気に入った。もう一軒のお店。こちらは老舗の饅頭屋さんだ。「芋まんじゅう」が宣伝してあったので、とにかく入ってみた。ケースにたくさんの饅頭が並んでいた。「芋まんじゅう」と季節の饅頭を買ったが、あまり甘くなく美味しかった。店の人に聞くと、饅頭の種類は名古屋でも一番多いのではとのこと。どれにしようか迷うほどだ。鍼灸院の帰りに、たまに寄ると、鍼灸の温かさとともに、なんだか心が甘くなる。



(2016年2月25日)